



第1回テーマ展

ただみ・モノとくらしのミュージアム

〈会期〉
2023
1/31^火 → 5/28^日

国指定民具
「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」
収蔵庫公開中



ただみ・モノとくらしのミュージアム
〒968-0602 福島県南会津郡只見町大倉字窪田30
TEL.0241-86-2175
E-mail: mono_kurashi_museum@hyper.ocn.ne.jp

屋根の雪掘り
旧長谷部家住宅(叶津番所) 2022年2月
撮影地: 只見町叶津



撮影地: 只見町黒沢

〈ご利用案内〉

開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始(12月29日~1月3日)
入館料 無料

福島県只見町は、日本有数の豪雪地帯です。この町では冬のくらしをささえるために、さまざまな工夫をしてきました。この展示では、「暖をとる」「身にまとう」「雪で遊ぶ・家で遊ぶ」「雪を掘る」の4つのテーマで、冬のくらしの道具を紹介し、くらしの中の道具は、時代とともに、より使いやすいように工夫されていき、素材も変化していきました。そのうつりかわりを館蔵品から見ていきます。

第1章 暖をとる

寒い冬には暖をとる工夫がたくさんあります。家の中で使用した暖房の道具や器具を展示します。



(左上から)カンゼンブシ、カクマキ、(左下から)ポウカンボウ、ゲンベイ、ガイトウ、フカグツ、マルカンジキ、ソデナシ



(左から)ヒバチ、ダルマストーブ、ファンヒーター

第2章 身にまとう

寒さと雪を防ぐ冬のよそおいに着目します。寒い時の外での上着や雪道の履き物、雪道踏みの道具を展示します。みなさんが見学している時の服装と比べてみてください。



(上段左から)スケート、スケート、コードモソリ、コードモソリ
(下段上から)ストック、スキー、スキー

第3章 雪で遊ぶ・家で遊ぶ

雪が多く降る地域では、家の近くでさまざまな雪遊びができます。雪で遊ぶ時に使うスキー、ソリなどの道具や、家の中の遊び道具を展示します。



第4章 雪を掘る

積雪量の多い只見町では、雪かきを「雪掘り」と言います。使用する道具は、木でできたコウシキから、鉄のスcoop、スノードンプ、除雪機へと大きく変化してきました。そのうつりかわりを展示します。

(左から)コウシキノヤマドリ、コウシキ、タンスコ、スノードンプ

交通のご案内



公共交通機関でのアクセス

- 会津鉄道・会津田島駅から
定期路線ワゴン「自然首都・只見号」(11:05、15:00発)
「ただみ・モノとくらしのミュージアム前」下車 (乗車60分)
 - JR只見線・只見駅から
定期路線ワゴン「自然首都・只見号」(9:10、13:10発)
「ただみ・モノとくらしのミュージアム前」下車 (乗車20分)
- ※運行時刻は2022年10月1日現在の情報です。最新の時刻表をご確認ください。

お車でのアクセス

- 東北自動車道・白河ICから88km、約1時間45分
 - 東北自動車道・西那須野塩原ICから92km、約1時間50分
 - 関越自動車道・小出ICから75km、約1時間50分 (冬期間通行止)
 - 磐越自動車道・会津坂下ICから81km、約1時間45分
- 駐車場 20台 ※大型バス等は要事前予約